

n002010 春牧 盛久神社大祭

概要 適用



n002010001) 幟を立てる



n002010002
厄救神社宮司さん



n002010003
祭壇遠景



n002010004
お供え物



n002010005
大祭が始まる



n002010006
宮司さん



n002010007
祭壇遠景

【概要】

春牧地区唯一の神社となる盛久神社<盛久神社→リンク>は、祭神が平家の武将・平盛久である事もあり、武の神として戦時中は出征兵士やその家族の参詣も多かったとされる。

戦後までは旧暦における九月十九日が祭日とされていたが、新暦九月十五日に敬老会がに催される様になり神社の祭り日も同日九月十五日に変更された。※

午前中が大祭、午後に昼食も兼ねながら敬老会といった運びとなり、集落役員は忙しい一日となる。

平成 27 年9月19日の記録

屋久神社の宮司さん・区の役員それぞれが集まり、飾りつけ等を済ましてしまう。朝八時には準備も終わり談笑していた。

この日祭壇に供えられたのは以下の物であった。

○鯛○榊○米○酒○餅○塩○大根○しめじ○昆布○白菜○茄子○果物{バナナ・林檎・梨}

8:40 頃には神事を開始。

祝詞をあげ、各々順にお参りを済ませ、お神酒を頂き、宮司さんのお話へと移る。

9:10 頃修了。

【文献・資料】※屋久町郷土誌 2 卷

【写真】

n002010001 神社正面に幟を立て、その後の敬老会集合写真にも備える

n002010002 厄救神社の宮司さんと談笑



n002010008
区長さんもお参り



n002010009
入口の鈴



n002010010
お神酒を頂く

n002010003 準備された祭壇

n002010004 お供え物

n002010005 集落役員が集まり、大祭が始まる。

n002010006 厄救社の宮司さん

n002010007 宮司さんと祭壇

n002010008 区長さん

n002010009 入口の鈴と

n002010010 お神酒を頂く